

○進路シラバス（2年生）

【目標】「自分と社会との関わりを考える」

社会のあり方や社会と自分とのより良い関わり方を考え、自分の進路を研究する。

学期	月	行事	試験	進路研究LHR 総合的な探究の時間 【進路探究学習】	進路決定への流れ	学習のポイント
前期	4	・前期始業式 ・学習実態調査 ・生徒面談 ・難関校ガイダンス	・春季課題テスト	○進路研究LHR ・大学入試システム ガイダンス①  ○総合的な探究の時間 ・テーマ探究 ・キャリアセミナーⅣ 「キャリア研修」	*2学期の学部・学科決定への基礎知識の確認  <b>学問・学部・学科研究</b>	授業を中心とした自学自習の習慣の継続  *予習・授業・復習のサイクル確立 *目指せ4時間、割るな3時間 *休日の有効利用（自主的に学ぶ力をつける）
	5	・看護・医療系 ガイダンス	・第1回考査 ・ハイレベル模試 (希望者)			
	6	・県総体 ・春季校内球技大会 ・生徒面談 ・修学旅行 ・学習実態調査	・第1回校内実力 テスト			
	7	・夏季補習 ・短期海外語学研修 ・保護者懇談 ・千鳥Welcomeデー	・第2回考査 ・進研記述模試			
	8	・夏季補習	・夏季課題テスト ・全統記述模試			
後期	9	・千鳥祭 ・学習実態調査 ・生徒面談 ・千鳥Welcomeデー		○進路研究LHR ・進路講演会 ・大学入試システム ガイダンス②  ○総合的な探究の時間 ・キャリアセミナーⅤ 「大学出張セミナー」 ・テーマ探究 ・大学・学部・学科 リサーチ	<b>志望学部・学科の決定</b>  入試制度の研究	得意科目の養成 文理類型に対応する学習の定着
	10	・後期始業式 ・合同保護者会 ・秋季校内球技大会	・第3回考査 ・ハイレベル模試 (希望者) ・進研記述模試			
	11	・生徒面談	・第2回校内実力 テスト			
	12	・冬季補習 ・志望校調査 ・三者懇談 ・ACTデー (千鳥Welcomeデー)	・第4回考査			
	1	・学習実態調査	・冬季課題テスト ・進研記述模試 ・第3回校内実力 テスト			
	2	・生徒面談	・小論文演習 ・希望者模試 ・第5回考査	○進路研究LHR ・大学入試システム ガイダンス③  ○総合的な探究の時間 ・学びの計画書作成	*受験科目も検討しながら、3年 生での第一志望大学決定への基 礎を作る	志望大学群の検討
	3	・卒業式 ・後期終業式 ・春季補習	・マーク模試			
						克服点

学期	月	学習のアドバイス	
前期	4	<p>●入試を意識した学習スタイルを確立しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初が肝心。4点固定を再確認し、予習でしっかりと考える学習を組み込んだ学習スタイル(=応用力につながる)を構築することが、その後の学習の質アップにつながります。</li> </ul> <p>●学部学科の研究を深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学ごとの学部学科の特色、名称だけではわかりにくい学部学科など、中身・出口をしっかりと見きわめることが大切です。テーマ研究を利用して自分の力で調べてみよう。</li> </ul>	
	5	<p>●中間考査への取り組みが今後の学習を決めます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生での取り組みを見直して計画性と実行力を高めることが、成績に直結します。</li> </ul> <p>●定期考査は、授業内容を身につけるためのテストであり、入試に直結しています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査対策がそのまま入試対策になることを再認識し、目的意識を持って学習に取り組もう。</li> <li>・定期考査の復習こそが、具体的な基礎固めの学習になります。</li> </ul>	
	6	<p>●授業に集中して、部活動・趣味と勉強を両立させよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に集中することが最も効率的な学習方法です。そのためには英数国では予習が必要であり、地歴や理科では前時の授業の内容についてノートやプリントを読み返して理解、知識の整理をしておくことが必要です。</li> </ul> <p>●効果的な学習には「理解→定着」のプロセスが大切です</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「理解すること」を徹底的にやろう。「なぜ、そうなるのか?」という疑問に妥協せずに取り組むことが大切です。「概念の理解=定着」の積み重ねで後々の学習をさらにスムーズにします。</li> </ul>	
	7	<p>●高2夏休みが、本当の受験の天王山です</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高2の夏休みは、高校3年間の折り返し地点です。行きたい大学に合格できた人の入試スタートは、ほとんどの人が高2後半です。オープンキャンパスや体験的活動に参加して自分を鼓舞しよう。</li> <li>・高2後半のスムーズなスタートを左右し、進路選択の幅を広げられるのが高2の夏休みです。</li> </ul> <p>●高2夏休みは、苦手克服の最大のチャンスです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校の後半戦に向けた弱点克服と基礎固めが、高2夏休みの最大の課題です。</li> </ul>	
	8	<p>●入試は、得意科目勝負となります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の学部では専門分野を学び、研究します。入試では、学部の目的、専門分野の特性に合わせた入試科目が設定されます。傾斜配点などもあり、得意科目をつくるのが有利です。</li> </ul> <p>●5(6)教科7科目必須入試に対応するために5教科型学習にシフトしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの国公立大学はセンター試験で5教科7科目が課されます。2学期からは実力テストや模試も5教科型の受験となります。この夏で学習計画も5教科型に転換して、よい2学期のスタートを切りましょう。</li> </ul>	
	9	<p>●高校後半戦突入→入試への早期スタートをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学力観、得意勝負型入試など「3年になってから」では準備が間に合いません。入試の時期はみんな同じ。早くスタートすればただ進路選択の幅が広がります。</li> <li>○2学期～冬休み・・・合格するため、何を具体的にやったらいいかを見きわめる試行錯誤の期間</li> <li>○3学期～夏休み・・・入試基礎力を完成させる期間</li> <li>○高3の2学期・・・入試実践力をつける期間</li> <li>○冬休み～3学期・・・実践力を完成させる直前期</li> </ul>	
	後期	10	<p>●中間考査に万全の準備をして臨もう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受験を明確に意識して学習を開始した後の最初の定期考査です。スキマ時間を活用するなど、意欲的に学習に取り組む、上昇気流に乗れば、今後の実力テスト・校外模試に連動し、入試に向けた後半戦の好スタートになります。</li> </ul> <p>●学習時間のアップに挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習時間の絶対量を増やす時期です。「予習→授業→復習」の基本サイクルを再構築し、授業をベースとして、理科や地歴公民の学習時間を積み上げる学習計画を立てて実践しよう。</li> </ul>
		11	<p>●実力テスト・校外模試を効果的に利用しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の志望校群合格に必要な学力に対しての自分の位置を確認できるように、大学研究、学力向上の両面で準備を進めよう。初めての理科・地歴公民のテストの結果をもとに学習計画を練り直し、復習にも努めよう。「実力テスト・校外模試で発見した弱点の克服=受験学力向上」となります。</li> </ul> <p>●入試科目は、可能性のある最も多い科目数を想定して準備しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学・学部・学科リサーチで入試科目を調べます。国公立の個別試験、私立入試で必要となる科目の学習は、特に意識して取り組もう。</li> </ul>
		12	<p>●もう一度、自分のやりたいことを考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学・学部・学科リサーチに取り組む、各種講演会のレポートや、進路情報誌などを熟読するなどして、自分の希望進路を夢にとどめることなく、確固たる志望へと高めていこう。</li> <li>・学部・学科の選択理由、志望大を明らかにすれば、学習への具体的な意欲へとつながります。</li> <li>・志望大学の入試に必要な科目、要求学力などを明確にすることで、努力すべき方向性が見えてきます。</li> </ul>
1		<p>●センター試験を体感してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなさんも受験まで残り1年となりました。センター試験は約70%が2年生までの範囲から出題されます。センター試験は新聞やWebサイトに掲載されます。実際に解いて入試を体感してみよう。</li> </ul> <p>●実力テスト・校外模試をプレ入試として取り組もう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センター試験が終わったら、先輩たちは私大・2次試験に向かい本格的な受験シーズンに突入します。みなさんも実力テスト・校外模試が続きます。このテストをプレ入試と想定し、集中力・緊張感を持って取り組んでみよう。</li> </ul>	
2		<p>●受験勉強をスタートさせよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高2の3学期は、事実上の高3の1学期です。受験スケジュールには高3の3学期はありません。</li> <li>・入試までの流れを意識して、1年間を逆算して今すべきことを考えてみよう。</li> <li>・苦手を放置するとますます差が開きます。苦手克服の努力は続けなければなりません。教科担任の先生に相談するなど、自分なりの学習方法を確立し、週末などにこまめに取り組んでいこう。</li> </ul>	
3	<p>●自分にとっての最優先課題を明らかにすることからスタートしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やるべきことが具体化しないと、やる気にはなりません。自分にとっての最優先科目、そして、その科目の最優先ポイントを明らかにしよう。</li> </ul> <p>●レベルアップした学習習慣をつけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受験に向けてやるべきことは多いが、春休みにできることは多くありません。限られた時間でやるべきことを明確にして、計画を立て、それを確実に実行すること。うまくいかなければ計画を見直し、再度挑戦すること。「自分のための」能動的な学習習慣を身につけることが、この春休みの最大のテーマです。</li> </ul>		